

第7回首都圏広域地方計画改定に関する有識者懇談会 議事概要

日 時：平成28年2月17日（水）13:00～15:00

場 所：TKP東京駅日本橋カンファレンスセンター ホール6A

出席者：出席者名簿のとおり

議 事：

- (1) 首都圏広域地方計画 計画原案（案）及び今後の進め方について
- (2) その他

主な発言内容

■首都圏広域地方計画 計画原案（案）及び今後の進め方について

委員

- ・新しいことをやっていくことが中心になっているが、首都圏が抱えている問題として、インフラの老朽化についてももう少し書けないか。
- ・2章のところにインフラの老朽化が出てくるが、巨大災害の切迫と繋げて書かれており、災害がないとインフラが壊れないような印象。
- ・人口減少下では、民間における減価償却のように、時間が経つだけで、壊れるような考え方が必要ではないか。
- ・市町村のレベルでは、インフラの台帳を持っていないこともある。建設したインフラのメンテナンスが重要であることを押さえておくべき。
- ・具体的なプロジェクトについては、哲学・総論との関係をもっと少し丁寧に説明すべきではないか。また、プロジェクトのレベルが揃っていない印象がある。
- ・首都圏は世界に打って出ていくことができる地域。優れた日本のテクノロジーやインフラを輸出するなど、海外とのネットワークについても打ち出していくべき。

座長

- ・インフラのメンテナンスは、社会資本整備重点計画では一丁目一番地で扱っている。交通基本計画も合わせて、それぞれの計画で重きの置き方が違う。
- ・計画にサブタイトルがあると、メディアにも取り上げられやすい。

委員

- ・プロジェクトを推進していく際に障壁となる法や制度の改正まで踏み込んでいくのか。
- ・参考資料2の34ページだが、ソフトとハードが大事というまとめだけではなく、どういう空間を創り出したいかという整理が欲しい。アーバンプレイスメイキングなど、言葉を再考できないか。

委員

- ・第6章が検討中なのが残念。プロジェクトを、いくつかまとめられるものと、個別にできるもの、交付金制度や予算配分に関連づけられるものなど、整理できるとプロジェクトに迫力が増すのではないか。
- ・首都圏整備法の政策区域との関係はどうするのか。プロジェクトとの関係を見て、政策

区域論として展開できることがあるのではないか。

- ・プロジェクトの中で、土地を動かす必要があるということをしかり言ってはどうか。実行に繋がる施策があると良い。
- ・感想であるが、エコの取組に絵柄がないのが寂しい。

委員

- ・感想としては、広範囲にわたり夢のある計画となっている。これまでの意見も反映されていることに感謝する。
- ・プロジェクトを実際に進めていく上で、複数業種の民間企業が連携することが重要であり、そのような場を作って欲しい。また公益に資するデータはオープンにする、ということをサポートして欲しい。

委員

- ・参考資料2のP42、43は秀逸。これをどんどん広めて欲しい。P44は周辺の内容がとても濃くできているが、リングの域内交通、2次・3次交通の充実が重要なので、制度なども必要になってくるとは思うが、何か書き込めないか。
- ・首都圏は子育てがしにくいということが定着してきている。安心して子育てできるということをキーワードとして書き込めないか。
- ・計画原案概要2章1節(1)赤文字の「コンパクトに凝縮し」の「コンパクト」は人為的に感じため、不要ではないか。

座長

- ・参考資料2の世界都市機能強化は計画のどこに相当するのか。

委員

- ・参考資料2のP42、43に関して、国家戦略特区の検討では、シェアリングエコノミー、いわゆる民泊も含めて考えないとうまくいかないのではないかと、という話になってきている。時代に合わせて、制度を変えていくことも考えてはどうか。全体にハード寄りの内容という印象である。

座長

- ・宿泊のデータだが、東京に接しているエリアとして、埼玉県には頑張ってもらいたい。良いものは持っている。
- ・河川敷にある管理用道路を使うのは良い発想だが、災害で壊れないか。スーパー堤防のようなものであればよいが、現在の状況で強く言って良いのか。
- ・参考資料2P34の「美しく風格のある東京」を前に出すべき。5章に紛れ込ませられないか。
- ・「世界に通用する」、「日本人として」など、コンプレックスを感じる文言が目につく。「レジリエンス首都圏」も名詞+名詞であり、「しづとい首都圏」等にならないか。英語・カタカナを使いすぎであり、補足を入れるなどすべき。
- ・労働生産性について、労働時間との関係はどうなっているか。セットで考えると「ゆとり」にも結びつけられるのではないか。

委員

- ・プロジェクトが38もあり、覚えられないので、コンパクトな冊子があると良い。
また、プロジェクト毎に、誰がリードして、誰が動かすのかの整理してほしい。

委員

- ・今後、様々な場で計画を展開する際に、この計画に関連しているということが分かりやすいよう、ビジュアルアイコン的なものがあると良い。フィードバックを意識づけられるようなマネジメントができると楽しくなる。

座長

- ・今後の調整は、事務局と座長に任せて頂きたい。
(異議無し)

以 上